

## IV-56

## 築川ダム建設に伴う周辺環境整備に関する盛岡市民の意識について

岩手大学 正員 安藤 昭  
 岩手大学 正員 赤谷 隆一  
 岩手大学大学院 学生員 大泉 剛  
 岩手大学 学生員 ○及川 壮介

## 1. はじめに

ダム建設をめぐるのはダム建設に伴う移転者、移転の必要のない残存者、ダム湖周辺でレクリエーションを楽しむために訪れる人々の3つの立場の人々が存在し、この三者の合意形成に基づくダム周辺環境整備が望まれる。

現在、平成18年の完成を目指して、盛岡市の中心部から東へ約10km、国道106号に並行して流れる築川と根田茂川の合流点付近に築川ダムが建設中である。一昨年度から昨年度までは移転者および残存者に対する住民意識調査を行ない、築川ダム周辺地区の生活環境整備のための課題を明らかにした。

今年度は、訪問者の立場である盛岡市民に対する築川ダム周辺環境整備に関する意識調査を実施し、築川ダム周辺環境整備の課題を明らかにすることを目的としている。

## 2. 意識調査の概要

今回の調査では、築川ダム建設工事の盛岡市民への情報の提供の程度、築川ダム周辺地区の特性の認知の程度、盛岡市民が作ってもらいたい施設、全体の整備コンセプト及び築川ダム周辺施設に対する利用意識を明らかにするために以下の質問をした。

- ①築川ダム建設に関する認知度
- ②築川ダム周辺地区のイメージ
- ③盛岡市に不足している観光レクリエーション施設
- ④築川ダム周辺地区の魅力
- ⑤築川ダム周辺にあれば利用してみたい施設
- ⑥築川ダム周辺環境整備の方向
- ⑦築川ダム周辺施設に対する兼観光

調査対象地域の盛岡市の市街化区域を1kmメッシュに分割し、北部、西部、中央部、東部、南部から各地区1区域を抽出し、その区域内の20歳以上の住民を対象に、直接面接法による調査を実施した。調査期間は、平成7年11月8日から平成7年11月16日、有効回答数は495票であり、個人属性は表-1に示す。

表-1 被験者の個人属性

|      | 北部 |    | 西部 |    | 中央部 |    | 東部 |    | 南部 |    | 計   |     |
|------|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|
|      | 男  | 女  | 男  | 女  | 男   | 女  | 男  | 女  | 男  | 女  | 男   | 女   |
| 20代  | 5  | 5  | 9  | 13 | 3   | 11 | 7  | 11 | 14 | 11 | 38  | 51  |
| 30代  | 4  | 12 | 8  | 18 | 8   | 12 | 5  | 4  | 16 | 18 | 41  | 64  |
| 40代  | 17 | 18 | 5  | 10 | 16  | 27 | 5  | 15 | 11 | 12 | 54  | 82  |
| 50代  | 12 | 11 | 5  | 10 | 6   | 4  | 9  | 9  | 5  | 6  | 37  | 40  |
| 60代  | 3  | 2  | 15 | 10 | 4   | 1  | 5  | 4  | 9  | 6  | 36  | 23  |
| 70代～ | 0  | 0  | 3  | 0  | 5   | 7  | 6  | 3  | 4  | 1  | 18  | 11  |
| 計    | 41 | 48 | 45 | 61 | 42  | 62 | 37 | 46 | 59 | 54 | 224 | 271 |

## 3. 調査結果及び考察

## (1) 築川ダム建設に関する認知度について

「築川ダム」建設自体について75%の人が「全く知らない・あまり知らない」と答えており、建設場所に近接する東部においても「全く知らない・あまり知らない」と答えた人は53%もいた（図-1）。年代別にみると、若い世代になるにつれて認知度は低くなるという傾向がある。

また、全く知らない人以外には、建設主体・完成予定・建設場所・建設目的についても質問したが、どの項目も半数以上の人々が「全く知らない・あまり知らない」と答えており、築川ダム建設を詳しく知っている人はほとんどいないという結果になった。

以上のことから、築川ダム建設をもっとアピールして、市民参加のダム造りをするのが望まれる。

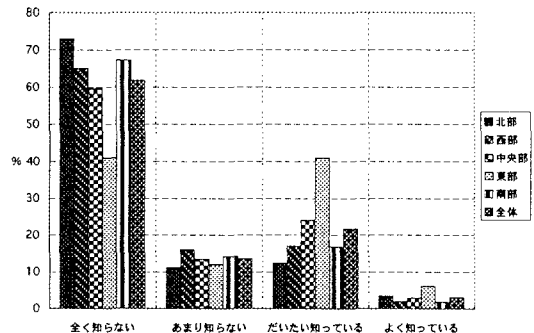


図-1 築川ダム建設の認知度について

## (2) 築川ダム周辺地区のイメージについて

12項目の5段階評価による評定尺度を用いたSD法により、盛岡市民の築川ダム周辺地区に対するイメージを求めた。

プラスイメージの項目は、「自然が豊か」「空気がきれい」「公害が少ない」「静か」であり、マイナスイメージの項目は、「交通の便が悪い」「市街地から遠い」「観光資源に乏しい」「さびれている」であり、快適性は良いが利便性が悪い一般的な農山村地区としてのイメージが強い。

レクリエーション地区として整備を行なうには、プラスイメージである「自然が豊か」等がアピールできる点であり、マイナスイメージである「交通の便が悪い」等は、周辺整備により十分改善できる点であると思われる。

## (3) 盛岡市の観光レクリエーション施設で不足しているものについて

盛岡市の観光レクリエーション施設で多くの人に

Legend:

- 20代
- ▨ 30代
- ▩ 40代
- ▧ 50代
- ▦ 60代
- ▤ 70代
- 全体

| 施設          | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 園林公園        | 35% | 38% | 45% | 52% | 40% | 30% | 38% |
| テーマパーク      | 63% | 42% | 35% | 25% | 15% | 10% | 35% |
| アニメ・マンガ・遊園地 | 30% | 28% | 25% | 20% | 15% | 10% | 22% |
| フラワー・パーク    | 28% | 25% | 22% | 18% | 15% | 10% | 20% |
| 水族館         | 28% | 25% | 22% | 18% | 15% | 10% | 20% |
| 博物館         | 38% | 35% | 32% | 28% | 25% | 20% | 30% |
| 動物園         | 32% | 30% | 28% | 25% | 22% | 18% | 27% |
| 多目的公園       | 30% | 28% | 25% | 22% | 18% | 15% | 24% |
| 野外スポーツ広場    | 28% | 25% | 22% | 18% | 15% | 10% | 21% |
| 野球場         | 28% | 25% | 22% | 18% | 15% | 10% | 21% |
| プール         | 28% | 25% | 22% | 18% | 15% | 10% | 21% |
| 総合運動場       | 32% | 30% | 28% | 25% | 22% | 18% | 27% |
| 競馬場         | 25% | 22% | 20% | 18% | 15% | 10% | 20% |
| キャンプ場       | 25% | 22% | 20% | 18% | 15% | 10% | 20% |

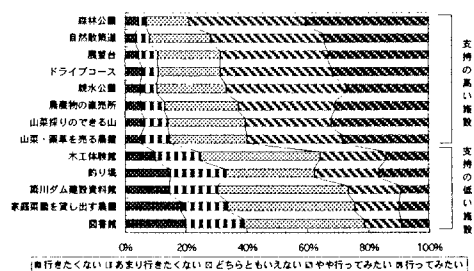
#### (4) 鑓川ダム周辺地区の魅力について

| Vegetation Type                   | Percentage (%) |
|-----------------------------------|----------------|
| 自然と地味入る雑草の群落である                   | 45             |
| 場所が海岸内であり、海と近距離 (約10m) である        | 65             |
| ゼンマイなどの山菜が豊富であり、山菜採りができる          | 35             |
| 景色がきれいである                         | 30             |
| コナラ、ミズナギなどの樹皮が剥がれやすく、紅葉を楽しむことができる | 30             |
| キノコ、タケノコ、センブリ、ウツなどの野生動物が多い        | 45             |
| ムカシントウモロ、ゼンマイなどの珍しい菌類がある          | 25             |
| 寺では貴重となったツケナキがある                  | 15             |
| まとまったアヤメ群落がある                     | 10             |

■ 全株数  
 70%+  
 60%  
 50%  
 40%  
 30%  
 20%

(5) 築川ダム周辺にあれば利用してみたい施設について

また、(3)の「盛岡市の観光レクリエーション施設で不足しているものについて」の結果と併せて考えると、多くの人が足りないと感じていた「森林公園」「観光農園」等は、利用してみたい施設にも入っており、緑の多い築川ダム周辺地区には期待できる施設だと思われる。



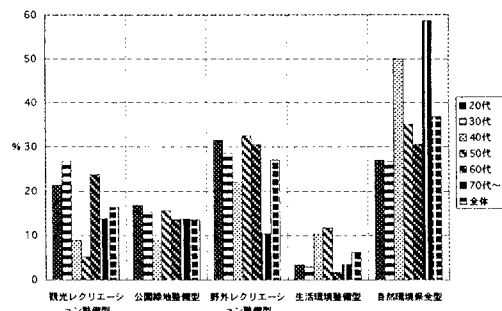
(6) 鑓川ダム周辺環境整備の方向について

〔観光レクリエーション整備型〕  
観光レクリエーション地区として積極的に整備する  
〔公園緑地整備型〕

〔野外レクリエーション整備型〕  
自然環境を生かした野外レクリエーション地区として整備する

【自然環境保全型】  
特に観光レクリエーション地区としての整備はしない  
で自然環境保全をする

全体的に、「自然環境保全型」「野外レクリエーション整備型」が多くあげられた(図-5)。この結果は(5)の「築川ダム周辺にあれば利用してみたい施設」と、ほぼ同じ結果になった。



(7) 築川ダム周辺施設に対する兼観光について

(5)の「篠川ダム周辺にあれば利用してみたい施設について」であげた施設が出来たとして、国道106号利用の際に「立ち寄りたい」「時間があれば立ち寄ってみたい」と答えた人は82%もいた。この結果から、篠川ダム周辺施設に対する来訪者は期待できるものと思われる。

—509—